

「AIパーソナル角層解析」を全直営店舗で開始

ファンケル

ファンケルは、9月16日から、日本初のパーソナル角層解析サービスを「AIパーソナル角層解析」を全直営店舗にて開始した。所用時間は、頬の一部分のメーク落としを含めた30分程度となっており、無料サービスとして提供する。

同サービスは、独自に定とは異なり、角層から開発したAIにより、「角層の情報を解析する」というしきに関するタンパク質、他にはない解析方法であり、結果に基づいて、将来の肌悩みを未然に防ぐよう、同社ならではのシミ、シワ、毛穴、くすみなどの根本原因とされる「7つの肌力（バリア力、メラニン調整力、抗酸化力、肌修復力、抗ストレス力、くすみ除去力、毛穴抗炎症力）」について判定し、知りたい」ということが求められている。さらに、一般的に行われる肌測



女性だけでなく、男性も同様の理由により自分の肌状態への関心が高まり、男性用の化粧品市場は賑わいをみせている。そのような背景から、自分の肌状態をしっかりと認識したいという需要の増加に追い、ジェンダーフリーで活用できるサービスとなっている。

同社は約20年以上前から、無添加アンのチストレス研究の中で角層のタンパク質に着目した研究を続ける中、角層に含まれる約100種類のタンパク質の中から、美しさに関わるタンパク質を発見し、理想の素肌美は「7つの肌力」のバランスが整っていることが重要であることとを明らかにしてきた。

2015年にはこの研究を応用した肌解析システム「角層バイオマーカー解析結果として、角層の解析」を開発し、サービスの提供を始めた。しかし、このサービスは一部の直営店舗と通信販売のみの提供にとどまり、解析結果に時間を有するといった課題も残されていた。そこで今回、「角層バイオマーカー解析」の研究やサービスで得られた新たな知見やデータを駆使し、東芝デジタルソリューションズのアナリティクスAI「SAT LYS（サトリス）」を採用して短時間で解析ができるシステムへ進化させた。

表示された結果に基づいて、内外美容の専門知識を持ったスタッフによるパーソナルカウンセリングを含めた30分程度で、無料のサービスなので、買い物ついでに気軽に購入につなげていく

ナリス化粧品

7年連続でふきとり化粧水 国内販売シェア1位に

ナリス化粧品は、主力商品である「ふきとり化粧水」について、2021年度（2021年4月～2022年3月）の国内シェア1位であることが判明した。

同社は、2015年度（2016年8月実施）から、ふきとり化粧水の国内販売動向調査を実施しており、2021年度に170億円だった市場規模は、2019年度に199億円と順調に拡大していたものの、その後は新型コロナウイルスの影響により、各社ともに低調な推移となっている。

2020年度の調査においては170億円と市場規模が大きく縮小したが、今年度の調査も163億円と、縮小幅は抑えられたものの、2年連続で減少となった。

同社の2020年度ふきとり化粧水売上高は25億円で、市場シェアは14.7%だったが、2021年度は売上高24.2億円、市場シェア14.8%と、売上高を下げたものの、市場シェアについては若干上昇した。



同調査は、2022年8月に実施したもので、外部調査機関「TPCマーケティングリサーチ」によるもの。なお、この売上高は同社のナショナルブランドのみをカウントしており、ナリスブランド以外のOEM品、海外品は含まれていない。

私のH & B日記

生産性向上と環境配慮を両立した企業の取り組みが進む。日本は高度経済成長期を経て、大量生産をベースに小型化や軽量化を進め、それらを突き詰めた結果、高機能化・多機能化が図られ、新しい価値が生み出されてきたとも言える。その

時代時代にそうした新たな価値の恩恵を受けながら中年世代を迎えた私は、環境問題をそのように後向きに考えてしまいがちだが、デジタルネイティブである若者たちは環境問題に対し前向きな姿勢を示し、次々と環境系のスタートアップが生まれている。彼らが物心ついた頃には環境活動が大義名分に時代を迎えていたからだろう

慣行の終焉

時分は「昔より今の方がいい」と疑わず、いわゆる「おじさん口癖」とされる「昔はよかった」と切り出される話に注視しないのだが、今の若者たちは、そうした話題にも耳を向けていない。むしろ、向上させるには効率化や簡素化が重要とされるが、昨今の環境活動も、効率化・簡素化にこぞすれ、何ともいえない気持ちになるが、年賀状のやり取りもいずれレトロに組み込まれつつある。（菅）

慣行の終焉。慣行は、慣習・慣行の決別でもある。この数年は環境配慮の観点から年賀状のやり取りを控える企業が増えた。今年も既に数社から年賀ハガキを控えるとのハガキをもらった。企業からの最後のハガキと眺めながら、理解こそすれ、何ともいえない気持ちになるが、年賀状のやり取りもいずれレトロに組み込まれつつある。（菅）

「ヒト幹細胞培養液」専門の化粧品OEM。

先進の美容成分と「ヒト幹細胞培養液」配合でオリジナル製品をご提案いたします。

32箱からODMできます。

BMSラボラトリー for FACIAL ※サロン・クリニック専売品



- 豊富な「ヒト幹細胞培養液」のバリエーション
- コンセプトに合わせたオリジナル処方
- いま話題の「エクソソーム」配合可能

コスメシューティカル株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山3-4-6 AOYAMA346 3F
<https://www.cosmeceuticals.co.jp/oem/lp/>

「ヒト幹細胞培養液コスメ」の開発はお任せください。

Tel.03-6362-0368